



新型コロナワクチン接種

高山 公利

新型コロナウイルス感染症が世界的大流行となり 2 年以上がたちました。昨年末には感染者数も落ち着き行動制限も緩和されたところに、オミクロン株が世界中で流行し、日本でも感染第 6 波となりました。また、ワクチン接種 2 回したにもかかわらず新型コロナウイルス感染症にかかる「ブレークスルー感染」が起っています。

これを受けて、ブースター接種（新型コロナウイルスワクチン 3 回目）が開始されました。ブースター接種の副反応や効果について説明させていただきます。

「ブースター接種」とは？

ワクチンの効果を高め、持続させるための追加接種のことです。

「ブースター接種」が必要な理由？

- ① ワクチンの感染予防効果が緩やかに減少するから
- ② ブレークスルー感染を予防するため
- ③ 重症化を予防するため

「ブースター接種」の副反応は？

副反応は、概ね 2 回目接種後と同じと言われていますが、1 回目、2 回目接種と比較して、リンパ節の腫れの発現割合が高いことが報告されています。免疫が反応しているためと考えられています。リンパ節の腫れの多くは追加接種後 1～3 日後に症状が見られ、1～3 日以内に自然に消失しているようです。

ワクチンを受けた後も、今までのように感染予防対策を続けましょう



マスクの着用



石鹸で手洗い



手指の消毒



密集した場所



密接した場面



密閉された空間